

みんなの森づくり県民税関係事業
(森林(もり)の体験活動の支援事業(短期型)) 応募申請書

令和 6 年〇月〇日

鹿児島県知事 殿

代表者の役職名まで記載
すること。

申請人

所在地
団体等名
代表者名

鹿児島市鴨池新町〇番×号
さつまの里山を守る会
会長 薩摩 隆盛 印

下記の活動を実施したいので、「みんなの森づくり県民税関係事業（森林(もり)の体験活動の支援事業(短期型)）」に応募します。

記

1 事業名 里山再生と森林の魅力発信事業

2 事業目的

かつて、里山は人の暮らしと密接な関わりがあり、利用されることにより維持・管理されてきましたが、生活様式の変化や山村地域の過疎化、高齢化等により、適切な管理が困難となっている地域が見られる。

一方で、里山は、都市住民が豊かな自然に触れたり、子ども達が自然を体験する場としての役割が期待されている。

そこで、里山を整備し、森林を守り育てる世代の子どもとその保護者を対象に、森林の働きについて学ぶ場として活用し、持続的な森林づくりへの参加を促進する。

本事業は、県民の森林・林業に対する理解と森林づくりへの参加を促進するために活動を行う団体を支援する事業という趣旨を踏まえ、事業目的を簡潔に記述すること。

3 事業内容

(1) 学習活動、(2) 体験活動のいずれか若しくは両方取り組む必要がある。

- 学習及び体験活動については、それぞれの活動内容がわかるよう区分して、**具体的に記載すること。**
- 施設整備を行う場合は、施設を活用した学習・体験活動の計画を記載すること。

区分	森林・林業の学習活動	森林の整備・保全等の体験活動
内容	① 森林の多様性や自然の仕組み 森林インストラクターを講師に招き、紙芝居形式で楽しく学ぶ。 ② 森林の役割 森林の公益的機能を学ぶ。 ③ 森林資源の循環利用 木の良さや利用する意義を学ぶ。	① 里山散策、森の生き物観察 鹿児島市〇〇地区の里山林を散策し、そこに生きる生き物を知る。 ② 植栽活動・遊歩道整備 イロハモミジ、ヤマザクラ（計 600 本）を植栽し、遊歩道整備を行う。 ③ 間伐材を利用した木工教室 鉢置き台の製作を行う。
対象者	〇〇地区子供会、スポーツ少年団、〇〇緑の少年団、保護者、協賛企業、〇〇地区住民、一般	
活動場所	①③鹿児島市〇〇地区公民館 ②鹿児島市〇〇地区の里山林（鹿児島市〇〇町）	鹿児島市〇〇地区の里山林（鹿児島市〇〇町） 整備した施設を活用した活動であることが分かるように記載すること。
実施面積	別紙に、市町村広域図等に活動場所、現地の状況写真を記載すること。	森林整備：2ha（植栽 0.5ha, 間伐 1.5ha） 遊歩道整備：100m

※ 別紙にて位置図、現地の状況（写真）を添付

事業計画の内容が分かるよう、簡潔に記載すること。

4 事業実施スケジュール

年 月 日	事 業 計 画 内 容	参加者数
令和6年 7月	活動プログラムの調整 フェイスブックへの掲載 チラシの作成・配布	対象者別に参加者数を記載すること。
7月	活動下準備（除伐，下刈り，遊歩道の整備）	外部作業員3人 スタッフ5人
8月	学習（森林の多様性や自然の仕組み） 体験（里山散策・生き物観察）	100人 （園児・小学生50人，保護者・一般50人）
9月	活動下準備（植栽予定地の整地）	外部作業員3人 スタッフ5人
10月	学習（森林の役割） 体験（植栽活動）	250人 （小・中学生100人，保護者50人，企業・一般100人）
11月	活動下準備（間伐，除伐）	外部作業員3人 スタッフ5人
12月	学習（森林資源の循環活用） 体験（間伐材を利用した木工教室）	100人 （小学生50人，保護者・一般50人）
合計	・ 学 習 活 動 ： 3回 ・ 体 験 活 動 ： 3回	450人（A）

5 森林・林業と関わりのない新たな参加者やこれまで募集対象としていなかった団体等と呼び込む企画について（新規申請者は除く）

- （1）新たな参加者と呼び込むため改善を行った点
- （2）工夫や改善を行った企画
- （3）募集対象者（該当するものにレ点を記載する。）

【前回（R4）】 ☐ 学校（学年） ☒ 市民 ☐ 一般県民 ☐ その他（ ） 募集人数 100人

【今回（R6）】 ☐ 学校（学年） ☐ 市民 ☒ 一般県民 ☐ その他（ ） 募集人数 250人

6 参加者の募集方法（該当する方法の番号に○印を記載する。）

- (1) 新聞や情報誌への掲載（掲載予定：地域コミュニティ情報誌など）
- (2) SNS（ホームページ、フェイスブック、その他： ）
- (3) 募集チラシ（配布数：1,000部 配布先：近隣の幼稚園、小学校）
- (4) その他（市広報誌など）

7 企業と連携した活動について

企業と連携した活動の場合は、企業名、活動に対する企業の関わり方を具体的に記述すること。

●企業との連携の有無：あり・なし

- (1) 連携企業名：〇〇建設会社、〇〇レクリエーション企画会社
- (2) 連携内容：植栽予定地の整備（除伐、地拵え、遊歩道の整備）
学習・体験学習のプログラム作成
社員の植栽活動への参加

8 有資格者と連携した活動について

●有資格者が指導を行う活動の有無：あり・なし

- (1) 有資格者名：鹿児島 太郎（資格名：グリーンマスター）
- (2) 連携内容：森林の役割（森林の公益的機能）、植栽方法

有資格者が複数人の場合は、行を追加してください。

9 経費内訳表（様式2）

10 団体等の概要（様式3）

11 本事業の取組状況

- (1) 本事業の実施回数及び他団体との連携
5回、〇〇団体に活動場所（森林フィールド）を提供してもらっている。
- (2) 来年度の活用見込
今回植栽した場所は、来年度の下刈り体験の活動場所として活用する。
- (3) 森林の体験活動事例発表会の発表実績及び出席状況（R2～R6（過去5年間））
3回出席、R4発表

様式2 （※必要に応じ増頁することとし、別添資料がある場合は添付すること。）

経 費 内 訳 書

<収入の部>

区 分	金 額	
県補助金	100,000	
自己資金	50,000	50,000円
その他 (参加者負担金)	100,000	400円×250人(昼食代)
計	250,000	

当事業により申請する補助金額を記載すること。
●補助対象経費の10万円までが上限額

他の機関等からの協賛金、助成金等の予定がある場合は、その内訳を
〇〇建設会社協賛金

参加費等を徴収する予定がある場合は、その内訳を記載すること。

※ 県補助金の上限額は10万円です。10万円を超える部分については、自己資金、その他（参加者負担金等）が必要です。

<支出の部>

支出の内容や数量の計上は、できる限り具体的に記載すること。
募集要項で上限額が定められている項目については、上限額を参考に記載すること。

項 目	費 目	内 容	数 量	単 価	金 額
学習活動	賃金	スタッフ賃金（〇人×〇日）	〇〇 人	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇
	報償費	外部講師謝金（〇人×〇日）	〇〇 人	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇
	旅費	外部講師旅費（〇人×〇日）	〇〇 人	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇
	需用費	消耗品費 ・教材費	〇〇 セット	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇
	役務費	印刷製本費 ・資料	1 式	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇
小 計 ①					200,000
体験活動	賃金	【会場下準備】			
		外部作業員賃金（〇人×〇日）	〇〇 人	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇
		スタッフ賃金（〇人×〇日）	〇〇 人	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇
	報償費	木工製作外部講師（〇人×〇日）	〇〇 人	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇
	需用費	【植栽活動】			
		イロハモミジ苗木	〇〇 本	〇〇〇	〇,〇〇〇
		ヤマザクラ苗木	〇〇 本	〇〇〇	〇,〇〇〇

賃金、報償費は日当たりの経費額以内

賃金及び講師謝金は、
会員か外部か分かるように記載すること。

体験活動	需用費	固形肥料	〇〇 個	〇〇	〇,〇〇〇
		竹支柱	〇〇 本	〇〇〇	〇,〇〇〇
		【木工教室】			
		木工工作キット	〇〇 セット	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇
		【遊歩道整備】			
		階段用丸太	〇〇 本	〇〇〇	〇,〇〇〇
		燃料費（ガソリン）	1 式	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇
	賃借料	チェーンソー	〇〇 台	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇
		刈り払い機	〇〇 台	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇
		トラック（2 t）	〇〇 台	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇
		軽トラック	〇〇 台	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇
		バス	〇〇 台	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇
	保険料	動力使用	〇〇 人	〇〇〇	〇,〇〇〇
		その他	〇〇 人	〇〇〇	〇,〇〇〇
小 計 ②					300,000
参加者募集 ・広報等	役務費	【印刷製本費】			
		・チラシ(〇〇校区, 〇〇戸)	〇〇 枚	〇〇	〇,〇〇〇
		【通信運搬費】			
		・情報誌掲載料	1 式	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇
小 計 ③					100,000
補助対象経費 ①+②+③=④					600,000
補助対象外経費	食糧費	植栽活動に伴う 昼食代	250 人	400	100,000
補助対象外経費 ⑤					100,000
合 計 ④+⑤					700,000
④／（A）					2,400円/人

単価の根拠となるカタログ等
があれば添付すること。

九州運輸局公示の運賃、料
金額の範囲等確認すること。

チラシの配布先及び概ねの
配布数を記載すること。

1人当りの金額を記載
すること。

食糧費は補助対象にならないが、活動上必要と認められる食材費は需用費として補助対象となる。（参加者への弁当提供やスタッフ打ち合わせでの飲食費は対象外）
「体験活動」欄に必要性が分かるように記載すること。
（例：森林で集めた食材を調理するために必要な油や調味料等）

様式 3

団 体 等 の 概 要

団 体 等 名	さつまの里山を守る会		
代表者 役名・氏名	会長 薩摩 隆盛		
所 在 地	〒 8 9 0 - 8 5 7 7 鹿児島市鴨池新町○番×号		
計 画 作 成 者 住 所 氏 名 連絡先	〒 8 9 0 - 8 5 7 7 鹿児島市鴨池新町○番×号 鹿児島 太郎 099-286-**** (携帯番号: 080-△△△△-××××) e-mail satoyama-satuma@〇〇.jp		
設 立 年 月 日	平成 2 3 年 4 月 1 日	応募申請書の内容が確認できる担当者と連絡先を記載すること。	
団 体 の 構 成 員 数	5 0 人	内容確認や各種情報提供のため、メールアドレスはできるだけ記載すること。	
設 立 目 的	森林を守り育てる世代の子どもたちが、森林の働きについて学ぶ場として荒廃した里山を整備し、森林環境への意識を高め、持続的な森林づくりへの参加を促す。		
活 動 実 績	※活動実績には、団体としてのこれまでの森林体験活動（自力・補助）を記載するものとし、取組の成果や森林体験活動に対する考え方についても可能な限り、併せて記載すること。 なお、設立以降の活動内容や年間活動などの実績が分かる既存資料（総会資料やHP）があれば、換えることができる。		
添 付 書 類	会則・会員名簿、団体の規約 ※団体の概要が分かる資料を添付すること。		

誓約書

鹿児島県知事 殿

森林（もり）の体験活動支援事業に応募するにあたり下記事項について誓約いたします。

- ①自ら企画した事業を県内で実践できること
- ②自主的、組織的な活動で事業を完遂できること
- ③補助金の使途に係る条件遵守が確実であること
- ④営利を目的としないこと
- ⑤「鹿児島県暴力団排除活動の推進に関する条例」で規程する「暴力団」等でないこと
（学校については、PTA等の団体の実施によるものであること）

団体等名
代表者名